

～『着脱可能な電波時計』付きタイムレコーダ ラインナップ拡充～ USB メモリで勤怠情報のパソコン取り込みを容易にした 「T IMEROBO (タイムロボ)」シリーズ2機種を新発売

マックス株式会社（証券コード：6454）では、タイムカードに打刻した勤怠情報をパソコンに取り込み、市販の給与ソフトに連動できるタイムレコーダ「T IMEROBO」シリーズから、汎用性の高いUSBメモリでパソコンへの情報伝達ができる「ER-201S2/PC」「ER-231S2/PC」を10月2日から文具店や事務機店、OA商社、量販店、通販などを通じて発売します。

外部記憶媒体にUSBメモリを採用することで、複数事務所などパソコンと離れた場所にタイムレコーダが設置されていても勤怠情報が取り込みやすくなりました。

また、着脱可能な電波時計ユニット“T. A. P.”（PAT. P）を搭載しており、煩わしい時刻合わせの必要なく、給与やその他の支払いに関わる重要な時刻を正しく表示・打刻できます。

希望小売価格は、「ER-201S2/PC」が78,000円（税込価格81,900円）、「ER-231S2/PC」が115,000円（税込価格120,750円）です。

2機種合計で初年度6000台の販売を計画しています。

※T. A. P.: Time Adjustment Porterの略称



「ER-231S2/PC」

【開発の背景】

近年、女性の社会進出や高齢者雇用安定法に伴い、社員であっても育児や年齢に配慮した勤務形態が生まれてきています。さらに、アルバイト・パートタイマーを加えると、多様な勤務体系があり、勤怠管理者が全てを手作業で集計することは大変で、正確さも求められることから、一定以上の人員がいる事務所では給与ソフトに勤怠情報を取り込み、パソコン上で管理をしています。

一方、勤怠管理の端末であるタイムレコーダとパソコン間のデータの受け渡しには、これまでUSBケーブルや専用の記憶媒体が用いられていました。そのため、USBケーブルでは取り込み時にパソコンをタイムレコーダの近くまで持っていく必要があり、専用の記憶媒体では読み取り端末の所持が使用条件になるなど、勤怠情報のやり取りが手間となっていました。

そこで、今回当社では、外部記憶媒体に汎用性の高いUSBメモリを採用することで、パソコンとの勤怠情報のやり取りを容易にしたほか、時刻合わせの煩わしさを解消する、着脱可能な電波時計ユニットを搭載し、利便性の向上を図りました。

【主な特長】

○付属のUSBメモリで、簡単にデータを取り込み可能

タイムレコーダとパソコンが離れていても、USBメモリで簡単にデータの受け渡しができます。

○新電波時計ユニット“T. A. P.”（PAT. P）を標準搭載

業界初となる着脱可能な電波時計です。地下や窓から離れた場所に設置する際にも、このユニットを本体から外して電波の受信できる場所に移動させ、受信させた後に本体へ戻すだけで正確な時刻が自動的に設定されます。

○印字欄・印字段を自動で判断するフルオート機能を搭載

カードを差し込むだけで、印字する位置を自動的に選択して打刻し、重ね打ちも防止します。

○市販の主要給与ソフトに連動

【商品仕様】

商品名	ER-201S2/PC	ER-231S2/PC
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	時計表示時：3.6W 印字時：30W	
サイズ	H272×W187×D130mm	
質量	2.4kg	
外部記憶装置	USBメモリ	
使用人数	最大50人	最大100人
シフト数	4	20

☆本件に関するお問合せ先 マックス株式会社

商品に関するお問合せ オフィスソリューション営業部
0120-510-200（フリーダイヤル）

その他のお問合せ IR・広報室
TEL 03-3669-8106
報道に関するお問合せは、[こちら](#)まで